



医療法人 沖縄徳洲会

館山病院

館山病院の理念

“生命だけは平等だ、を基本理念とし、
「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」を目指します

Vol.9 2021年 1月15日

館山病院広報誌
発行：館山病院
〒294-0037 千葉県館山市長須賀 196
TEL.0470-22-1122 (代)
制作：館山病院 広報委員会
タメガ編集室 (内線 725)

Tateyama Hospital Magazine

Contents Cover 新年のごあいさつ 館山病院 院長 ②③新年のごあいさつ ④タメガNEWS/information

謹賀新年

旧年中はお世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます
令和3年1月

新年の
ご挨拶



館山病院 院長
竹内 信一

新年おめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大(今年も続くと思われる)、東京オリンピック・パラリンピックの延期、首相の交代と目まぐるしく大変な一年でした。館山病院はというと、職員一同の念願・夢であった新病院の建築が始まった節目となった年です。

今年の干支である丑年ー私の干支でもありますーの動物「牛」は、農耕作業や物資運搬の労働力として古くから人間の生活に欠かせない身近な動物です。また、大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ(芽が出る)」というような年になると言われています。今年は新型コロナウイルスと闘いながら来年の新病院竣工という大事業へのジャンプに向けて、職員一同が団結する一年となることを願っています。皆で頑張っていきましょう。



STOP!

感染拡大

— COVID-19 —

ご不便をおかけいたしますが、引き続き当院の感染対策にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



館山病院 副院長
佐藤 猛

新年あけましておめでとうございます。

今年は、館山病院が2022年5月の移転に向け、引越し準備期間となります。自身の家の場合は、妻と引越し業者に頼んでいましたので、引越しとは全く無縁な存在でしたが、この度、館山病院移転業務委員会の委員長という役を受けることになってしまいました。今回の病院の引越しも、業者に依頼し全てやって貰えるのかと甘く考えていましたが、実際のところは、病院を続けながら入院患者さんの搬送や物品なども移転となると話が全く違ってきます。大変責任があり、事故などが起きたら大変な反響となってしまいます。ですから、しつこいぐらいの綿密な打ち合わせが必要となるわけです。このように重大な責任のある引越しは、私にとって初めての経験のため少々負担ではありますが、一方で少し嬉しいことになるかもしれません。何故なら「断捨離」という概念で、人生で最後となる病院の引越しにおいて決断実行ができるということです。そういえば…「断捨離」とは何でしたっけ？2010年頃に一時期ブームとなりましたが、「物が一杯に増えてきたのできれいさっぱり捨てましょう」というほど簡単なことではありません。実は、自分にとって「本当に必要なものは何か、を見つめなおし、今必要でないものは未練なく捨てる勇氣を持てることが大切なことなのです。館山病院の職員の皆さん、引越しの際は身辺をきちんと整理して余計なものを新病院に持ち込まないようにしましょう。館山病院は外観だけでなく内部もきれいでであると認めてもらいましょう。そのためには、何度となく綿密な打ち合わせやリハーサルを施行して素敵な引越しができることをテーマとして今年は過ごしたいと思います。



館山病院 看護部長
辰澤 智恵

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、今までに経験したことのない大変な年となりました。院内感染をおこさないために感染対策に取り組み、職員にはいろいろなことの自粛をお願いする1年でした。患者さんやご家族さんにも、面会制限など大変ご迷惑をお掛けしております。自由に面会していただけない現状に職員も心痛な思いでおります。一日も早く日常が戻ることを祈るばかりです。今年も館山病院は、感染対策を徹底し、皆さんに安心して受診していただけるよう取り組んでまいります。新棟の建築も着実に進んでおります。引越しに向けた委員会も始まりました。新棟への夢に向かって今年度も皆で力をあわせて邁進していきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



館山病院 脳神経外科
菅沼 康雄

新年明けましておめでとうございます。

令和3年は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の真最中に新年を迎えました。日本が近代に体験した重大な疫病は ① 江戸時代末期から明治時代前期のコレラ ② 1918年から1921年までのスペイン風邪 ③ 2019年末からの COVID-19だが、前2回は病原体不明、有効な医療政策は無かった。しかし、COVID-19の病原体ははっきりしていて人から人への飛まつ感染であり、病気の経過は約2週間で、ウイルスは消滅すると言われているが一部は遷延して重症化、そのうち約1/3が命を落とす。今までと同様に確実な治療法は無い。われわれは疫病の経験から得た方法を実践すべきで、それは遮断である。例えば、PCR検査を日本人全員に一斉に実施する。各個人1週間に3回 PCR検査を行い、3回連続陰性の人は社会生活を自由とすると、コロナは遷延して入院している者以外は社会に存在しないはずである。このように愚直に見えても、前例が無くとも、科学的、正しい方法を繰り返すことで行き詰まりを乗り越えることになる。脳卒中のリハビリテーションでも同じことが言えます。動きにくくなった上下肢を、不完全でも毎日正しく動かす訓練を休まずに続ければ、回復しうる最高に近い目標を達成できるでしょう。本年もよろしくお願い申し上げます。





館山病院 内科部長
杉村 大作

あけましておめでとうございます。

一昨年からの台風被害にはじまって、昨年から続くコロナ騒ぎと本当に辛い日々が続いています。3密を避け人との接触を避ける日々。今までは何とも思わなかった初詣の人込みやコンサート、スポーツ観戦などでの人々の身近さ、居酒屋での談笑など、ごく当たり前の生活がなんと遠のいてしまったことか。でも、こんな時だからこそ、人と近く接触できない時だからこそ、改めて私達は他者に何ができるだろう、何をしてあげられるだろうと考えるべきだと思います。私達は一人では生きられず、いつも誰かの世話になって生きています。こんな時だからこそいつもよりほんの少し優しい気持ちを増やし、ほんの少し思いやりの気持ちを増やしましょう。そして皆で笑って肩を並べられる日を待ちましょう。



館山病院 歯科口腔外科
西尾 可苗

新年おめでとうございます。オーラルフレイルとは、口のフレイル。むせる、食べこぼす、かたい物が食べられない、滑舌が悪いといった口の機能低下を指します。放置すると、栄養摂取のバランスが崩れるリスクが高まり、健康寿命を左右することにもなるのです。オーラルフレイルにおいて口の機能低下が進む段階に「口腔機能低下症」という病名がつきました。保険適用にもなって、当院で検査を受けられます。定期的な歯科検診を行うことで口の衰えだけでなく、全身の衰えを防いで健康を守ります。また当院では、出血傾向のある方、高齢の独居の方の抜歯や、歯科恐怖症の方の鎮静など、入院しての加療も実施しております。2021年も皆さんの「健口なお口」を維持するためのサポートをさせていただきますので、お気軽にご相談ください。



館山病院 健診センター長
黒岩 宙司

あけましておめでとうございます。

昨年健診センターは、優良総合健診施設として5回目の更新をいたしました。これまでの積み重ねとスタッフの頑張りがあったためだと思います。これを励みとして今年も安房地域の住民の皆さんの健康を守るために、日々の業務をとおして疾病の早期発見、また予防にここがけていきたいと思っています。丑年にならって一歩一歩ゆっくりと確実に進んでいきたいものです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



館山病院 内科
関 紀夫

新年明けましておめでとうございます。

新病院は2022年の春に国道127号の館山バイパス沿いに移転をいたします。私事になりますが、目が悪いため、通勤には自転車を使用しています。現在の通勤時間は3分程度で新病院になると15分程度となり、通勤距離が長くなる分大変になりますが、見方によっては毎日程々の運動ができ健康のために良くなるだろうと思っています。単身赴任のため、食事は自炊ではなくレトルトで済ませてしまったり、食べ過ぎる傾向から太ってしまったりと、食生活が乱れがちですが、食生活の改善と通勤時間の適度な運動で少しは痩せることを期待しています。皆さんも健康維持のため日常の生活に少しでも運動を取り入れることをお勧めします。今年もよろしくお願いいたします。



館山病院 事務長
田村 秀禎

一陽来復 謹んで年頭のご挨拶申し上げます。昨年はコロナ禍にて、色々なことを経験し学んだ一年でした。そして今年はいよいよ新型コロナウイルス感染症ワクチン接種計画。現在、体制確保として国が法の整備を進めています。全国民対象の大規模な予防接種と言われているのですが、当院も地域医療の一面を担う施設として、安全な予防接種体制を確保してまいりたいと存じます。まずは引き続き院内の感染対策を実行いたします。幸いにもこの文書を書いております今日までスタッフならびに患者さん、利用者さん、関係業者さん達のご協力にて院内での新型コロナ感染症は発生いたしませんでした。厚く御礼申し上げます。また、来年春に開院予定の新病院建設に向け、近隣住民の方々に十分配慮し粛々と進めてまいります。早くこの感染症が終息し、皆さんが安心した暮らしが送れますよう心よりお祈り申し上げます。

NEWS 1 / クリスマスハンドベルミニコンサート開催 有志の看護師が結束し、天使のベル、結成

昨年12月22日、全病棟(回復期リハビリ病棟/障がい者病棟/療養病棟/一般病棟)の入院患者さんを対象にクリスマスのイベントとして「ハンドベルミニコンサート」を開催。コロナ禍でご家族との面会、外出や外泊が制限される中「病棟や病室内でも聞ける音楽を演奏し皆に楽しんで貰おう」と障がい者病棟の山口春海・看護師長を中心にメンバーを集い皆で企画。クリスマスソングから童謡(ふるさと)、嵐(ふるさと)など全7曲を各病棟15分間の演奏で計7回の公演を行った。障がい者病棟・緩和ケアリンクナース会等の看護師11人で結成された「天使のベル」はこの日のために2ヶ月間、週一回のペースで業務後に集まり練習を重ねた。音楽経験者の林由章・看護主任が練習のサポートに入り、SNSで動画を共有し音をチェックするなど、大変だったがそんな時間も楽しく、職員同士の絆も深まり有意義な経験となった。涙を流して感動する患者さんやスタッフ、皆で一緒に歌えたことなど、何よりも患者さんに喜んで貰えたことが嬉しかったとメンバーは口を揃えて話す。コロナ終息後には病院祭など他の場での演奏も企画し今後も活動が続けていく。



クリスマスの雰囲気を楽しんで貰うための飾りつけやドレスコードは黒い服、サンタの帽子と皆でそろえた

NEWS 2 / 館山病院公式 info アプリ登場！地域の皆様に愛されるよう様々なサービスをご提供します

※プッシュ通知、にて病院の情報を配信！是非ダウンロードしてください！



- ・病院のお知らせ
- ・外来診療担当医表や救急当番日のご確認
- ・人間ドック・健診のお知らせ
- ・病院までの無料バス時刻表のご確認
- ・医療講座、イベント情報などプッシュ通知にて配信
- ・緊急時や災害時における大切な情報をプッシュ通知にて配信

*ダウンロードや操作方法など不明な点はお気軽にご連絡ください

☎0470-22-1122(代) 総務課・地域連携課まで

ダウンロードはこちら



館山病院オンライン医療講座 【時間】:14:00~ 13:30入室可 *参加費無料 *事前申し込み制 *定員100名 *「Zoom」使用

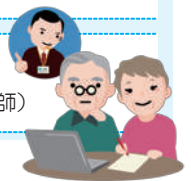
1月21日(木) ※再配信 『認知症① 自宅でする認知症チェック』 講師：山木 琢也(館山病院 看護師)
『認知症② 認知症の症状と対応』

1月28日(木) ※再配信 『認知症③ 認知症に使う薬について』 講師：関口 徹(館山病院 薬剤師)

2月4日(木) ※再配信 歯科Dr.西尾直伝「今すぐ始めよう!」シリーズ②
『8029(ハチマルニク)ご存知ですか?』 講師：西尾 可苗
~健康は良質な食事から~ (館山病院 歯科・歯科口腔外科 医師)

2月18日(木) ※NEW 歯科Dr.西尾直伝「今すぐ始めよう!」シリーズ③
『口腔機能低下症ご存知ですか?』 講師：西尾 可苗
~お口の機能をあげて全身の健康促進を~ (館山病院 歯科・歯科口腔外科 医師)

※参加方法や事前のお申込みの詳細は、ホームページや院内に設置のチラシをご確認ください。



医療法人 沖縄徳洲会

館山病院

事業所一覧

〒294-0037 千葉県館山市長須賀 196

Tel.0470-22-1122(代) Fax.0470-22-2826

http://tateyama-hp.com/



館山病院公式
ホームページ

・人間ドック・健診センター
Tel.0470-23-5030 Fax.0470-23-5034

・歯科センター Tel.0470-25-3555

・訪問看護ステーションたてやま
Tel.0470-24-7311 Fax.0470-24-7312

・ヘルパーステーションたてやま
Tel.0470-24-7310 Fax.0470-24-7312

・ケアプランセンターたてやま
Tel.0470-25-3477 Fax.0470-25-3488

・リハビリテーションセンター Tel.0470-22-1122(代)

・館山市地域包括支援センターたてやま
Tel.0470-25-7191 Fax.0470-25-7192

・指定通所リハビリテーションセンターたてやま
Tel.0470-30-8770 Fax.0470-30-8771

・ばんぶーはうす(生活訓練施設)
〒294-0038 千葉県館山市上真倉 2383
Tel.0470-22-1712 Fax.0470-22-1718

・指定特定相談支援事業所たてやま
〒294-0038 千葉県館山市上真倉 2383
Tel.0470-22-1712 Fax.0470-22-1718